

## 友好の架け橋「リレーメルヘン」

敦賀市と各務原市の子どもたちが共同で創り上げるこの「リレーメルヘン」は今年で十冊目を迎えます。長年にわたり続いていることは、この事業が子どもたちにとって値打ちのあるものの証でしょう。作品には、その時々の子どもたちの物の見方や考え方が反映されているように思います。最初の作品を創り上げた子どもたちは成人になっています。成人してから読み返している人もいることでしょう。きっと当時を思い起こし、感慨深いものがあるにちがいないありません。

今年も、物語の前半を敦賀市の子どもたちが、後半を各務原市の子どもたちが担当しました。物語の舞台は様々ですが、どの作品からも人との関わりが感じられます。友達、家族、自分の周りを取り巻く大人たち：人間関係が希薄になつているといわれる現代ですが、子どもたちは人との関わりがあふれる物語

を創り出しています。作品を創った子どもたちは、人との関わりを大切にしたいと願っていることが伝わってきます。また、作品の中には地球環境や家族関係をテーマにしたものもあり、小学生の視点から今日の社会問題を考えていることを感じ取ることができます。

最後になりましたが、敦賀市と各務原市の友好の架け橋となる「リレーメルヘン」を誕生させていただきました両市の図書館の皆様方、各小学校の先生方、そして作者である子どもたちに、心から感謝いたします。

各務原市立稲羽東小学校長

中島 玲子